

情報連絡員総括表（2025年1月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移

※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 59 名：回収率 98.3%）

○2025年1月のDI値（全体）は、前月との比較において、「取引条件」「収益状況」の2指標が悪化し、その他7指標が改善した。「売上高」は、製造業・非製造業のいずれも改善し、15.5ポイントの改善が見られ、2024年4月ぶりにDI値がプラスを記録した。

○「製造業」では、前月との比較において「取引条件」「資金繰り」の2指標が悪化し、その他7指標が改善した。「取引条件」は、マイナス3.3ポイントを記録している。特に「生産用機械器具」では、自動車部品が値上げされ価格交渉は進んでいるものの、希望する金額までは達していないことから、好循環には結びついておらず、取引条件の改善が望まれる。

○「非製造業」では、前月との比較において「取引条件」「雇用人員」の2指標が悪化し、その他7指標が改善した。「収益状況」は、2か月連続で改善傾向を示したが、依然DI値はマイナスを記録しており、厳しい状況に置かれている。今月は、対前月比で改善傾向を示した項目が多かったが、「雇用人員」は7.1ポイント悪化しており、厳しい状況といえる。「道路貨物運輸業」では、時間外労働時間は減少傾向にあるものの、輸送量は前年度から同水準以上を維持していることから、こうした人手不足の中でも、各社の輸送効率の向上が進んでいることが窺える。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2025年1月	3.4	-13.9	32.2	-11.9	-25.4	-16.9	-6.7	-3.4	-25.4
2024年12月	-12.1	-2.4	24.2	-6.9	-27.6	-15.5	-20.0	-3.5	-34.5
増減	15.5 ↑	-11.5 ↑	8.0 ↑	-5.0 ↓	2.2 ↑	-1.4 ↓	13.3 ↑	0.1 ↑	9.1 ↑

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2025年1月	0.0	20.0	ポイント	↑	6.9	10.4	ポイント	↑	3.4	15.5	ポイント	↑
	2024年12月	-20.0				-3.5				-12.1			
在庫数量	2025年1月	-6.7	-6.7	ポイント	↑	-30.8	-23.1	ポイント	↑	-13.9	-11.5	ポイント	↑
	2024年12月	0.0				-7.7				-2.4			
販売価格	2025年1月	26.6	6.6	ポイント	↑	37.9	9.3	ポイント	↑	32.2	8.0	ポイント	↑
	2024年12月	20.0				28.6				24.2			
取引条件	2025年1月	-10.0	-3.3	ポイント	↓	-13.8	-6.6	ポイント	↓	-11.9	-5.0	ポイント	↓
	2024年12月	-6.7				-7.2				-6.9			
収益状況	2025年1月	-26.6	3.4	ポイント	↑	-24.1	0.9	ポイント	↑	-25.4	2.2	ポイント	↑
	2024年12月	-30.0				-25.0				-27.6			
資金繰り	2025年1月	-20.0	-3.4	ポイント	↓	-13.8	0.5	ポイント	↑	-16.9	-1.4	ポイント	↓
	2024年12月	-16.6				-14.3				-15.5			
設備操業度	2025年1月	-6.7	13.3	ポイント	↑					-6.7	13.3	ポイント	↑
	2024年12月	-20.0								-20.0			
雇用人員	2025年1月	-3.3	6.7	ポイント	↑	-3.5	-7.1	ポイント	↓	-3.4	0.1	ポイント	↑
	2024年12月	-10.0				3.6				-3.5			
業界の景況	2025年1月	-23.3	13.3	ポイント	↑	-27.6	4.5	ポイント	↑	-25.4	9.1	ポイント	↑
	2024年12月	-36.6				-32.1				-34.5			

今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	2	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0
	繊維工業	1	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	1	1	1
	木材・木製品	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1
	紙・紙加工品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1
	印刷	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	2	0	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	鉄鋼・金属工業	0	2	0	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	1	1	0	1
	一般機器	0	3	0	1	0	1	0	1	0	3	0	3	0	3	0	1	0	2
	電気機器	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	輸送用機器	1	2	0	2	1	1	0	1	0	2	0	1	0	2	1	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	X	X	0	0	0	1
	小売業	0	2	0	2	3	2	0	3	0	3	0	3			0	1	0	4
	商店街	1	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0	0			0	0	0	1
	サービス業	3	0	X	X	2	0	1	1	2	1	1	0			2	1	1	1
	建設業	0	3			3	0	0	0	0	3	0	2			0	2	0	2
	運輸業	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1	0	0	0

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・原料不足による製品価格の相場上昇も落ち着きを見せ、徐々に原料の数量が増加傾向になった。業界全体で安定的に供給が進めば製品相場が下がる可能性はあるが、極端な値下がりはいらないと思われるので不安感はない状態にある。
織物業	・生産数量は微増ではあるが、業界の縮小により稼働率は90%程で推移。受注先もそれを踏まえ発注数量を平準化している。その為来年度、再来年度の受注も入っているが総量の伸びは期待できない。
製材業、木製品	・一般住宅については、11～12月に若干上向き傾向が見られたが、それ以前の状況に戻ってしまった。 ・住宅建築市況は相変わらず低調だが、海外資材の値上げがあり合板も在庫調整から値を戻した。組合員製材工場の稼働も前年同月より上向いたとみられる。
印刷	・官公庁の印刷物について値段の叩き合いになっていると思われる。協会会社が廃業との情報があり、今後増えるものと予想される。
骨材・石工品	・売上高が前年同月より増加した為収益状況も改善したが、厳しい状況は変わらない。
金属製品	・インフルエンザ等の感染症で休む人がいて出勤率が少し落ちている。
生産用機械器具	・自動車部品の単価値上げがほぼあった。要求金額はかけ離れており、まだまだ価格値上げによる好循環はなっていないのが現実。 ・協定価格については価格転嫁出来るが、新規見積については価格転嫁してしまうと失注してしまう状況がある。政府は考える必要があるか。
電気機械器具	・白物家電の12月の業界統計では、国内出荷金額は3ヶ月連続のプラスとなった。冷蔵庫は2ヶ月連続のマイナス、ルームエアコンは冬の気温の低さも有り3ヶ月連続のプラスだった。 ・1月の生産実績は、冷蔵庫は春商戦に向けて久しぶりにプラスとなり、家庭用エアコンは冬の寒さも有りプラスとなった。組合員は引き続きの生産拡大に期待している。
輸送用機械器具	・分野別での増減はあるが、全体として大きな変動はない。 ・人件費増、人手不測、トランプ関税の先行き不透明。不安材料しかない。

非製造業

セメント卸売業	・1月の出荷は大型工事の終了に伴い、2カ月振りに前年実績を下回った。セメントメーカーからの袋セメント価格改定については令和7年4月実施を受入れた。
鮮魚小売業	・消費マインドの低下で来客数は伸び悩んだが、売上高は価格改定等の動きにより単価が上昇し、昨年並みとなった。ただし、価格転嫁はまだまだの様子。収益状況については、原材料の高止まり、人件費の上昇等により改善までには至っていない。
野菜・果実小売業	・12月に大きく高騰していたキャベツの価格は下がってきたものの、多くの青果物は高値のまま推移している。特にみかんは12月より更に高騰している。
商店街	・加盟店でも、福袋を販売している店は、開店前からお客様が並んでいた。2・3日に開催した獅子舞のイベントもお客様に浸透してきて、獅子に頭を噛んでもらう人で賑わった。 ・韓国などの観光客が増えている。抹茶が人気で品薄状態で、価格も上昇している。 ・年末年始は天候が良かったせいか屋外施設の入りが良かったようで、当施設は微減であった。
宿泊業	・年末年始の長期休暇明けから、集客に苦戦した。前年同月比が、昨年を上回った要因のひとつとして、営業日が増えたことがある。 ・年末年始の宿泊予約は、11月以降にはほぼ満室に近い状況になるなど順調に推移していたが、インフルエンザの感染が猛威を振るい始めてから宿泊キャンセルが発生し、結果、1/1～1/3の最繁忙期に客室が埋まらない状況があった。観光業界はインバウンドの好調もあり、全体的にはコロナ前の状態にほぼ戻りつつあるが、人手不足と各種エネルギーの高騰は喫緊の課題として引き続き対応策が求められる。
総合工事建設業	・契約時の工期より遅れる物件が目立ってきている。工場を止めるわけにはいかないため、本来の工期で製作だけしてストックしている状態で、在庫(仕掛)が増えている。ストックヤードにも限りがあるので悩みのひとつとなっている。全体的には、仕事量は足りていない状況で、夏ぐらいまでは止まった状態が続くと思われる。
職別工事建設業	・物価上昇に伴う企業の事業計画の見直しなどが散見され、設備投資が止まり気味。延期、中止、縮小など再計画により、着工が遅れているものが多い。計画自体もなくなるものもあり、予断を許さない状況。取引条件に関しては、担い手3法により、価格は据え置きが続くが、都市部ではダンピングも見られるとの情報もあり、組合員の結束が重要。夏以降は、大型物件の計画もあるが、不透明。
道路貨物運輸業	・貨物運送業の時間外労働時間は減少傾向にあるなかでも、輸送量は前年度から同水準以上を維持している。人手不足が深刻な状況のなかで、各社が輸送効率の向上に取り組んだことが分かる。配送効率向上のための企業の取り組みとして、パレット輸送や中継輸送の実施、車両の大型化や共同配送など輸送システムの見直しなども行われている。さらに、適正な運賃設定が荷主の理解を得て徐々に進んできている。しかし、依然として燃料費の高止まりや深刻な人手不足など業界を取り巻く環境は厳しい。
道路旅客運輸業	・年末繁忙期で期待された12月であったが、対前年同月営業収入は0.7ポイントの上昇にとどまり11月期の営業収入比率は3.2ポイント下がっており、年間の累積収入は前年同期を上回ってはいるものの上げ止まりの状況となっている。春節を迎えた中国をはじめインバウンドによる旅客需要の増加が期待されることである。

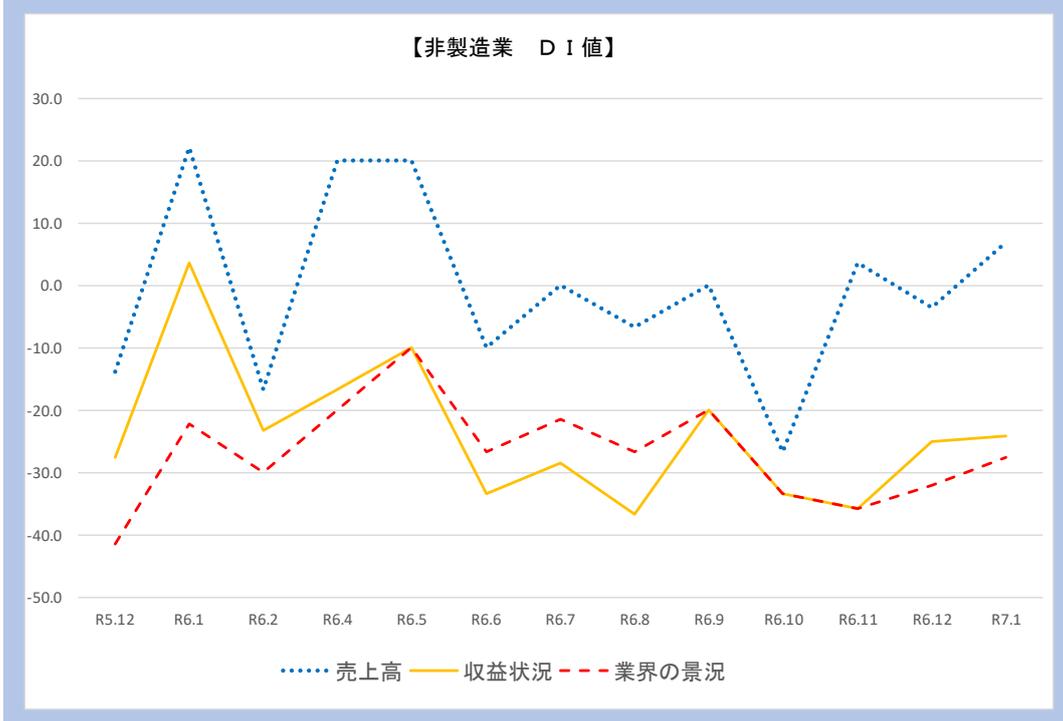
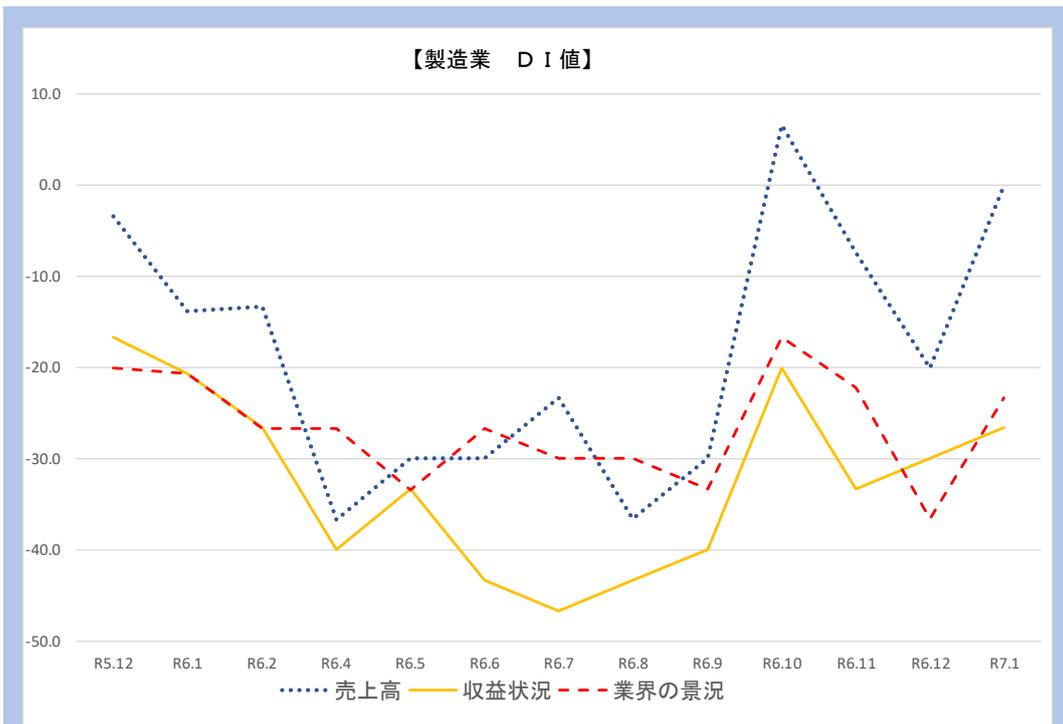
4. 主要三指標における DI 値の推移

■2024年1月期～2025年1月期までの推移

全体	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1
売上高	3.5	-15.0	-8.4	1.7	-5.0	-20.0	-12.1	-21.7	-15.0	-10.0	-1.8	-12.1	3.4
収益状況	-9.0	-25.0	-28.3	-18.3	-21.6	-38.3	-38.0	-40.0	-30.0	-26.6	-34.5	-27.6	-25.4
業界の景況	-21.4	-28.3	-23.3	-28.4	-21.7	-26.6	-25.8	-28.3	-26.7	-25.0	-29.1	-34.5	-25.4

製造業	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1
売上高	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0	0.0
収益状況	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0	-26.6
業界の景況	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6	-23.3

非製造業	R5.12	R6.1	R6.2	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1
売上高	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5	6.9
収益状況	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0	-24.1
業界の景況	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1	-27.6



■2024年1月期～2025年1月期までの推移

売上高	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1
製造業	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7	-30.0	-30.0	-23.3	-36.6	-30.0	6.6	-7.4	-20.0	0.0
非製造業	-13.8	22.2	-16.6	20.0	20.0	-10.0	0.0	-6.7	0.0	-26.7	3.6	-3.5	6.9

収益状況	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1
製造業	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0	-33.3	-43.3	-46.7	-43.3	-40.0	-20.0	-33.3	-30.0	-26.6
非製造業	-27.6	3.7	-23.3	-16.6	-10.0	-33.4	-28.5	-36.7	-20.0	-33.3	-35.8	-25.0	-24.1

業界の景況	R6.1	R6.2	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1
製造業	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7	-33.4	-26.7	-30.0	-30.0	-33.3	-16.7	-22.2	-36.6	-23.3
非製造業	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0	-10.0	-26.7	-21.5	-26.6	-20.0	-33.4	-35.8	-32.1	-27.6

